マナビィ
いわてまち
岩手町教育委員会広報
2019 SUMMER 夏号

内容紹介
・医師と歩く森林セラピーロード in いわてまち　・情報モラル学習会
・川口小学校クリーン作戦　・新『おおぞら号』デビュー！　・子どもアートワークショップ開催
・北山形しっしどかっか町指定無形民俗文化財指定　・髙橋昭治氏町へ考古資料等を寄贈

新たな森の楽しみ方を満喫

医師と歩く森林セラピーロード in いわてまち

6月29日、岩手町森林セラピー基地啓発事業として、「医師と歩く森林セラピーロード in いわてまち」が開催され、20名の方が参加しました。講師に森林医学認定医の宮崎玲子氏、森林セラピストの安永正治盛岡森林管理署長を迎え、「子抱コース」と「嵐山コース」で森林セラピー体験を行いました。

散策時の様子

散策前に、宮崎先生から森林セラピーの効果について講話をしていただき、血圧測定、唾液アミラーゼ値を用いたストレスチェックを実施しました。血圧測定はなじみがあるけれど、唾液でストレスチェックをするのは初めてという方も。準備体操をして、いざ散策！

散策では、宮崎先生や安永署長から、森林セラピーの効果的な散策の仕方について説明を受けながら、五感で森の癒しを体験しました。寝転んで森林浴を行う、木々の緑色を見る、きれいな空気を吸う等・・・普段の山歩きとは一味違う方法で森林浴を満喫しました。

宮崎玲子先生

寝転んで森林浴

散策前の準備体操は、アメリカ・シカゴのジョフリーバレエ団でプロのダンサーとして活動されている**岩井優花さん**にご指導いただきました。世界で活躍するバレエダンサーの登場に、参加者の皆さんも嬉しそうな様子でした。

（2面へ続く）

（1面の続き）

散策後は、再び血圧・唾液アミラーゼ測定を実施し、森林セラピーによる癒し効果を確認しました。半数の方に血圧値とアミラーゼ値の低下が見られ、体感だけでなく数値でもストレスが軽減したという結果が得られました。

昼食には、岩手町加工組合特製の「森林セラピーおにぎり」ときゅうりの一本漬けが振舞われ、参加者の皆さんからも大変好評でした。

町では、今後も森林セラピー基地啓発事業を実施予定です。どうぞお楽しみに！

↑大好評だった森林セラピーおにぎり

←おにぎりはかわいい包みで登場！

参加者の皆さんの感想

- 寝ながら森林浴が特に良かった。
- 空気がみずみずしく感じられた。
- お弁当がおいしかった。
- 気持ちが癒された。

夏休み前に再確認
情報モラル学習会

町内中学校3校では、情報メディア学習会を開催し、SNS利用時の注意点等を学びました。

一方井中は、岩手県立総合センター三田正巳主任研修指導主事を講師に、体験教材のスマホを用いてSNSチャットを擬似体験しました。

沼宮内中と川口中は、NTTドコモCS（シーエス）東北インストラクターを講師に迎え、情報モラルに関するドラマを鑑賞しました。ドラマの一場面から、「自分だったらどう思うか」を考え、講師から「インターネットを使用する上でしてはいけないこと」について説明を受けました。

生徒からは、「ネットには沢山の人がいる。言葉に気をつけ、写真に気をつけて、安全に楽しく使っていきたい。」との感想が聞かれました。

岩手町では、昨年度「ネット・スマホ等使用10か条」を児童生徒のいる全世帯に配布し、各家庭において「我が家のルール」を決めて取り組んでいます。共通の約束と我が家のルールをもう一度確認しましょう。

各校の様子

沼宮内中

川口中

一方井中

スマホやケータイを使うときは

①ネット上で知り合った人は、信用しない。会いに行かない。発信した情報は消せない。軽はずみの投稿で個人が特定され、将来に影響することもある。
②必ずフィルタリングをする。
③使い過ぎて睡眠や勉強の時間を削ることが無いように。
④トラブルは誰にでも起こりうる。困った時は絶対に一人で悩まず、保護者や学校の先生に相談する。

SNSを使う時には

○自分や友人の写真は載せない。
○誰にみられても問題がない投稿か確認する。
○場所等個人情報のヒントになる情報は載せない。

川口小学校
クリーン作戦

川口小学校では6月21日にクリーン作戦を実施しました。いつもお世話になっている地域のみなさんに感謝の思いを込めて、ゴミ拾いや草取り、室内の掃除を一生懸命行いました。開会式で児童会長の佐藤七星（ななせ）さんは、「JRC活動の一環として地域の為に活動をしよう。」と挨拶をしました。

1・2年生は路上のゴミ拾い、3年生は川口駅前周辺のゴミ拾いと草取り、4年生は川口公民館の清掃、5年生は川口社会体育館清掃、6年生は働く婦人の家と園井恵子像の周辺の清掃に取り組みました。

清掃を通して「勤労の大切さ」と「社会に奉仕する態度」を学ぶことができました。

開会式

園井恵子像の清掃

公民館の清掃

新「おおぞら号」デビュー！

5月8日、一方井保育所にて移動図書館車『おおぞら号』出発式が行われました。この日は、車両リニューアル後、初めての巡回日です。

佐々木町長は、「世代を超えて多くの皆様に図書館に親しんでほしい」と挨拶をしました。

テープカット後、子どもたちは職員から本の借り方の説明を受け、新しい図書館車にはしゃいだ様子で本を選んでいました。

どの本に
しようかな～

～石神の丘美術館リニューアル関連事業～
子どもアート ワークショップを開催しました

7月19日、石神の丘美術館リニューアル関連事業として、沼宮内児童館でワークショップを開催しました。

講師は、リニューアル後の美術館の看板やマップのデザインに携わって頂く、イラストレーター・**小池アミイゴさん**です。

この日は、沼宮内児童館の子どもたちと、「岩手町で有名なもの」をテーマに、真っ白い大きな布をキャンバスに、ペンで思い思いに絵を描き、絵の具できれいに色づけしました。

完成した作品5枚のうち4枚は、プラザあい3階に、残り1枚は岩手町立図書館に展示中です。どんな作品かは、見てのお楽しみです。是非ご覧ください。

小池アミイゴさん

北山形しっしどかっか
町指定無形民俗文化財に指定

北山形地区に伝わる郷土芸能「北山形しっしどかっか」（保存会代表　白椛誉）は、平成31年４月１日付けで町指定無形民俗文化財に指定されました。

この踊りは、明治時代に地域に伝わったとされ、昭和初期に伝承が途絶えたものの、平成８年頃に地区民の熱意によって復活しました。

平成16年１月には保存会が結成され、地域の子どもたちも参加し、敬老会や秋祭りなどで踊られ、熱心な伝承活動を行っています。

今年７月に宮古市で行われた「いわて絆まつりｉｎ宮古２０１９」にも出演し、県内各地の郷土芸能とともにイベントを盛り上げました。

宮古市で開催された「いわて絆まつりin宮古2019」で披露する保存会の皆さん

町の郷土芸能を見てみよう！

町では現在、15の郷土芸能が町指定無形民俗文化財に指定され、各地域の祭りやイベント等に参加し、積極的な活動が行われています。

毎年11月には、町郷土芸能連絡協議会（会長　遠藤一彦）主催による岩手町郷土芸能発表会が開催されます。町内各地の郷土芸能を一度に堪能できる機会ですので、ぜひ会場にお越しください。

高橋昭治氏（下苗代沢在住）町へ考古資料等を寄贈

下苗代沢在住の高橋昭治氏は、この度町へ自身所有の考古資料等８６９点をご寄贈され、７月11日岩手町より「感謝状」の贈呈が行われました。

高橋氏は、戦後間もない頃から半世紀以上にわたり、印刷業を営む傍ら地域の考古学の研究を続け、アマチュアでありながらも岩手考古学会副会長や岩手町文化財保護審議会委員長等を歴任しました。

昭和29年、町内有志と共に「岩手町郷土史研究会」を結成し、豊岡遺跡をはじめとした町内遺跡の調査を行い、農地開発によって消滅の危機にあった多くの遺跡の保護に尽力しました。

感謝状を受け取る高橋昭治氏

その後も岩手町や八幡平市を中心とした広範囲にわたる地域の調査・遺物採集活動を続け、その膨大な資料の修復・整理に努めました。

昭和39年、資料を一括管理し、散逸を防ぎ、また広く一般に公開するため、私設の「北進考古学資料室」を開設し、平成14年に閉館するまで、県内初の考古学資料館として考古学の発展に寄与してきました。

そしてその活躍は国内にとどまらず、エジプト（ミニア市）との交流やアメリカ　アーラム大学教授との親交等、文化財を通じた国際交流にも貢献されました。

ご意見やご感想など、お気づきの点がありましたら下記までお問い合わせください。

【編集・発行】
岩手町教育委員会社会教育課
〒028-4395 岩手町大字五日市 10-44
電　話：0195-62-2111
（内線 343・352）
ＦＡＸ：0195-62-2032
メール：shakyo-1@town.iwate.iwate.jp

マナビィいわてまち 2019 夏号
令和元年７月 24 日発行